

犯罪や非行のない社会を目指し 社会を明るくする運動

7月の社会を明るくする運動強化月間に合わせ、同運動町推進委員会の委員が、7月1日に平泉駅前や各小中学校で街頭広報活動を行いました。朝のあいさつを交わしながら、啓発品を配布し、犯罪や非行の防止、犯罪者の立ち直りを地域で支えていくことへの理解と協力を呼びかけました。また、各小中学校では、児童・生徒や先生たちも朝のあいさつ運動に参加し、元気に声を掛け合いながら気持ちよく1日をスタートしていました。



功績が認められ受賞 人権擁護委員の千葉さんと石川さん

人権擁護委員の千葉博昭さん(16区)が仙台法務局長表彰を4月1日に、同委員の石川長善さん(5区)が県人権擁護委員連合会長表彰を5月19日に、それぞれ受賞しました。2人は豊富な経験を生かし、人権擁護委員として特設人権相談所だけでなく自宅においても電話相談を受け付け、さまざまな悩みの相談に当たられており、石川委員は委嘱された平成21年から、千葉委員は委嘱された23年からそれぞれ現在までの功績が認められ、受賞されました。



100歳の節目を盛大に祝う 小野寺アヤ子さんが百寿を迎える

小野寺アヤ子さん(15区)が7月2日、満100歳の誕生日を迎えました。この日は小野寺さんが利用している施設でお祝いの会が開かれ、青木町長から小野寺さんに長寿を祝う記念品と花束が贈呈されました。小野寺さんは、現在週2回ほど平行棒でリハビリに取り組んでおり、長生きの秘訣は「何でも好き嫌いなく食べる」と話し、施設の利用者や職員、家族らのたくさんの笑顔に囲まれて長寿を祝福されました。



素晴らしい文化を広めていく 5周年の節目を盛り上げる前夜祭

平泉世界遺産5周年を記念した前夜祭(NPO法人みんなで作る平泉主催)が6月25日、役場庁舎前の町道を歩行者天国にして開催されました。夢灯りやキャンドルに照らされた会場内は幻想的な雰囲気になり、イベントを楽しむ来場者でにぎわい、みんなで5周年の節目を祝いました。またイベントの最後には、平泉ユネスコ協会文化財愛護少年団の団員14人が「平泉の素晴らしい文化を世界中に広めていく」と宣言していました。

千葉さんが最高位賞を受賞 一関地方畜産共進会の黒毛和種の部

7月2日、第3回一関地方畜産共進会の黒毛和種の部が、一関市川崎町で行われ、町内畜産農家の千葉泰さん(3区)が、最高位賞の岩手農林水産振興協議会長賞に選ばれました。同部には、JAいわて平泉管内の一関市、平泉町から140頭の牛が出品され、体形や発育状況などが審査されました。受賞について千葉さんは「一人の力ではなく、JA畜産課をはじめ、和牛生産部会平泉支部の皆さん、そして家内の協力をいただいた結果だと思っています」と話していました。



約850年ぶりに再現 奥州藤原氏ゆかりの法要「如意輪講式」

平泉世界遺産登録5周年を記念して復元した奥州藤原氏ゆかりの法要「如意輪講式」が6月26日、中尊寺本堂で営われました。同講式は如意輪観音を信仰していた奥州藤原氏三代秀衡公の母が比叡山の僧侶澄憲に制作させたとき、昨年失われた音律などの復元が進められていました。当日は僧侶や町民、来賓ら約200人が参加。約850年ぶりに経文に音律を付けて唱える僧侶の声明や僧俗一体で唱和する念仏などが本堂内に厳かに響き渡りました。



世界遺産ご当地キャラが集合 平泉世界遺産祭2016

平泉世界遺産登録5周年を記念した「平泉世界遺産祭2016」(世界遺産連携推進実行委員会主催)が、7月2日、3日の両日、観自在王院跡で開催されました。くまモン(熊本県)やぐんまちゃん(群馬県)など世界遺産のご当地キャラクター10体が集まり、ステージでそれぞれの地域のPRを行いました。また世界遺産にちなんだ催しやグルメ・物産の販売も行われ、会場は多くの来場者でにぎわいました。



平泉の地から世界平和を祈る 平泉世界遺産の日に「平和の祈り」

6月29日、「平泉世界遺産の日」に合わせて、毛越寺で「平和の祈り」(世界遺産登録5周年記念事業実行委員会主催)が開催されました。町内7つの寺院の僧侶16人と当町と友好提携を結ぶ中国天台宗の国清講寺の僧侶5人、町民など約500人が参列し、屋外の南大門跡祭壇で法要が営われました。本堂前では、平泉小学校5、6年生108人が合唱「平泉讃歌」を披露し、世界平和と東日本大震災の犠牲者追悼の祈りをささげました。